

イチゴ果実部局所加温システムの開発

イチゴ高設栽培システムにおいて、着生果実を局所的に加温するシステムを開発しました。このシステムを従来のクラウン部局所加温システムと併用することにより、3月までの増収と、低温期に生じる種浮き果の発生低減効果が期待できます。

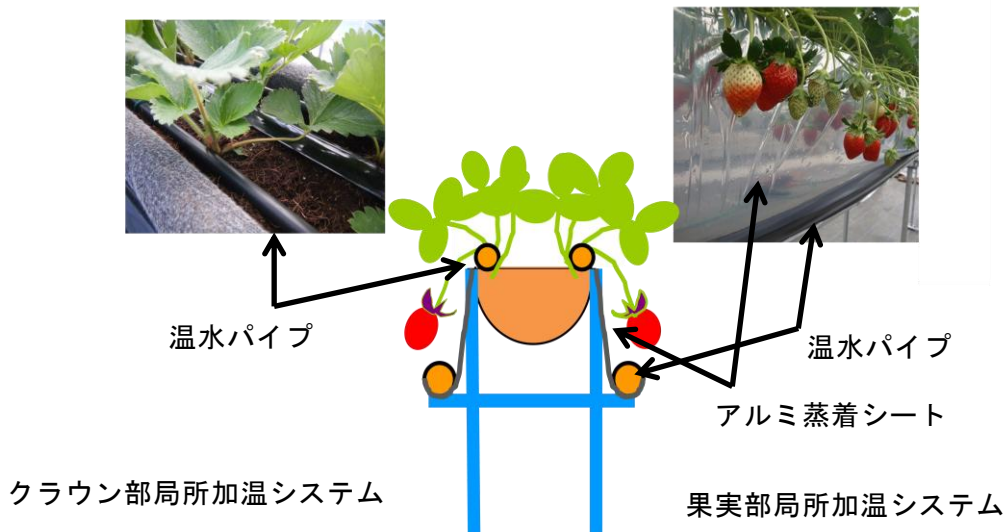


図1 果実部およびクラウン部局所加温システム

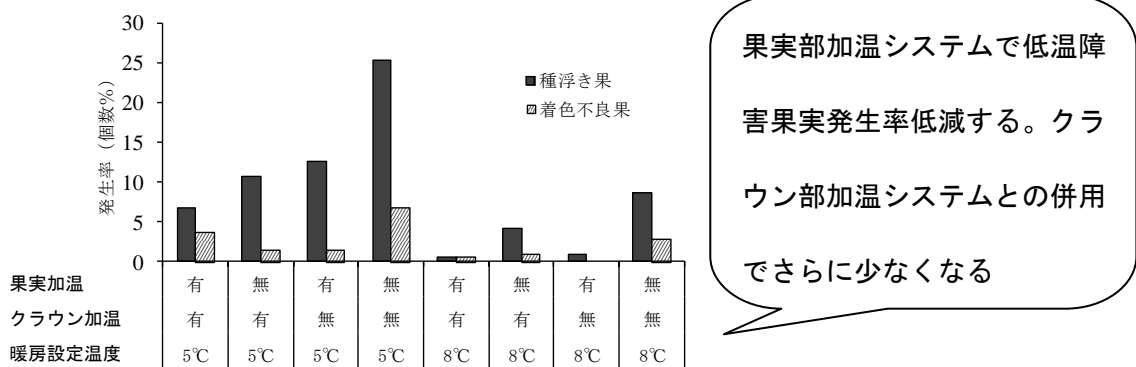


図2 果実部加温の有無、クラウン部加温の有無および暖房設定温度の違いが種浮き果および着色不良果の発生率に及ぼす影響